

# Oracle Developer for HP-UX

リリース・ノート

R6i Patch4a

2001 年 7 月

**部品番号: J04540-01**

このドキュメントには、リリースの時点で分かっている情報をすべて掲載しています。リリース後に明らかになった情報は、通常のカスタマーサポートから入手できます。

**ORACLE®**

Oracle と Oracle のロゴは Oracle Corporation の登録商標です。Oracle Forms Developer、Oracle9iAS Forms Services、Oracle Reports Developer、Oracle9iAS Reports Services、Oracle9i Application Server は Oracle Corporation の商標です。記載されているその他の製品名および社名はその製品および会社を識別する目的にのみ使用されており、それぞれ該当する所有者の商標です。

Copyright © 2001, Oracle Corporation  
All Right Reserved

---

# 目次

第 1 章 Oracle Developer for HP-UX R6i Patch4a の適用 .....	3
パッチの適用に関して .....	3
CD の内容 .....	3
インストール方法 .....	4
アンインストール方法 .....	5
このパッチで修正される不具合 .....	5
第 2 章 Oracle Developer R6i Patch4a の日本語環境での実行.....	6
Patch_1702087 の適用 .....	6
第 3 章 Oracle Forms Developer and Oracle9iAS Forms Services R6i .....	7
Patch4 新機能 .....	7
Forms Listener Servlet の導入.....	7
必要条件 .....	7
Forms Listener Servlet について .....	7
Forms Listener Servlet を使用する理由 .....	8
より詳細な情報について .....	8
jserv.properties ファイルの修正 .....	9
日本語環境での jserv.properties ファイルの修正 .....	9
JInitiator 1.1.8.7 の動作環境の追加 .....	9
エラーメッセージの追加.....	10
エラー・メッセージ 13009-18010 .....	10
その他の問題点 .....	10
Patch4a インストール後の JInitiator バージョン整合 .....	10
JInitiator Control Panel 1.1.8.7 .....	11
第 4 章 その他の追加情報.....	12
チャート・ウィザード .....	12
og.pll の使用 .....	12
Windows 2000 への JInitiator のインストール .....	12
reports60.csh の編集.....	12

---

# 第 1 章 Oracle Developer for HP-UX R6i Patch4a の適用

## パッチの適用に関して

Oracle9i Application Server Enterprise Edition R1.0.2.1 で提供される Oracle Developer Server 機能（Oracle9iAS Forms Services および Oracle9iAS Reports Services）は Oracle Developer R6i Patch3 に対応するコンポーネント・バージョンで提供されています。日本語環境で Oracle9i Application Server Enterprise Edition R1.0.2.1 の Oracle Developer Server 機能（Oracle9iAS Forms Services および Oracle9iAS Reports Services）をご使用の際は、Oracle Developer R6i Patch4a を適用してください。このパッチを適用する場合には、あらかじめ Oracle Developer for HP-UX R6i、または Oracle Developer Server for HP-UX R6i、または Oracle9i Application Server Enterprise Edition R1.0.2.1 がインストールされている必要があります。

「Oracle Forms Developer and Oracle Forms Server for HP-UX リリース・ノート リリース 6i」および「Oracle Reports Developer and Oracle Reports Server for HP-UX リリース・ノート リリース 6i」には Oracle Developer R6i Patch2 の適用に関する記述がありますが、Oracle Developer R6i Patch4a の適用に際して、Oracle Developer R6i Patch2 の適用を前もって行う必要はありません。製品のインストール後そのまま Oracle Developer R6i Patch4a を適用してください。

patch\_install.sh スクリプトは\$ORACLE\_HOME に既にインストールされている製品のみに適用されます。

パッチのアンインストールが必要な場合は patch\_install.sh で作成されるバックアップ・ファイル及び patch\_deinstall.sh スクリプトを削除しないようにしてください。

バックアップファイルは全て拡張子が.PRE\_P4 になります。

パッチを適用する場合は、インストールされているすべてのコンポーネントにパッチを適用する必要があります。たとえば、Forms のみにパッチを適用し使用することはサポート対象外となります。

Forms または Reports の one-off パッチを適用する場合は、Patch4a をインストールした後に、それらのパッチを再度適用する必要があります。

## CD の内容

CD のルート・ディレクトリには次のファイルとディレクトリがあります。

README\_dev6i\_p4a.html

developer6i\_patch4.tar.Z

Patch\_1702087

README\_dev6i\_p4a.html は英語版 README ファイルです。

developer6i\_patch4.tar.Z がパッチ・ファイルです。

Patch\_1702087 ディレクトリに Oracle Developer R6i Patch4a を日本語環境で実行するために、追加で必要になるファイルが入っています。

このパッチには、コンポーネントを以下のバージョンにアップグレードするためのモジュールが含まれています。

Forms	6.0.8.13.0
EWI	3.4.4
Reports	6.0.8.13.2
Graphics	6.0.8.13.0
TK	6.0.8.12.3
vgs	6.0.5.37.0
NN	6.0.8.13.0
doc	6.0.8.11.5
d2pm	6.0.8.11.4 (release notes)
jdkav	1.1.8.7o
jinit	1.1.8.7o

## インストール方法

このパッチを Oracle9i Application Server 環境に適用する場合は、環境変数 ORACLE\_HOME を <9iAS\_HOME>/6iserver に設定してください。また、<9iAS\_HOME>/6iserver/lib を環境変数 SHLIB\_PATH の最初に、<9iAS\_HOME>/6iserver/bin を環境変数 PATH の最初に設定してください。

注意: Oracle E-Business Suite 11i ユーザーは Oracle E-Business Suite 11i のドキュメントを参照してください。

1. 環境変数 ORACLE\_HOME を設定します。
2. ファイル developer6i\_patch4.tar.Z を \$ORACLE\_HOME にコピーします。
3. Uncompress を実行します。

```
uncompress developer6i_patch4.tar.Z
```

4. Untar を実行します。

```
tar xvf developer6i_patch4.tar
```

5. 次のコマンドを実行します。

```
cd $ORACLE_HOME/developer6i_patch4
```

6. インストールのためのシェルスクリプトを実行します。

```
./patch_install.sh
```

このスクリプトの実行中、次のようなエラーメッセージが出る場合がありますが無視してください。

```
"genshlib: error: archive library not found:
$ORACLE_HOME/lib/libix.a"
```

7. 環境変数 SHLIB\_PATH に

```
$ORACLE_HOME/network/jre11/lib/PA_RISC/native_threads
```

を追加します。

8. Relink します。

```
cd $ORACLE_HOME/procbuilder60/lib; make -f ins_procbuilder.mk install
cd $ORACLE_HOME/forms60/lib; make -f ins_forms60w.mk install
cd $ORACLE_HOME/reports60/lib; make -f ins_reports60w.mk install
cd $ORACLE_HOME/graphics60/lib; make -f ins_graphics60w.mk install
```

## アンインストール方法

1. 環境変数 ORACLE\_HOME を設定します。
2. アンインストールのためのシェルスクリプトを実行します。

```
./patch_deinstall.sh
```

3. Relink します。

```
cd $ORACLE_HOME/procbuilder60/lib; make -f ins_procbuilder.mk install
cd $ORACLE_HOME/forms60/lib; make -f ins_forms60w.mk install
cd $ORACLE_HOME/reports60/lib; make -f ins_reports60w.mk install
cd $ORACLE_HOME/graphics60/lib; make -f ins_graphics60w.mk install
```

## このパッチで修正される不具合

修正される不具合の一覧は英語版の README を参照してください。

---

## 第 2 章 Oracle Developer R6i Patch4a の日本語環境での実行

Oracle Developer R6i Patch4a を日本語環境で正常に動作させるためには、Patch4a の適用後、この章で説明する「Patch\_1702087 の適用」の手順に従い、いくつかのファイルを Oracle Developer R6i がインストールされたディレクトリに追加する必要があります。この手順により Oracle Forms Developer アプリケーションを Web クライアントから実行した際に特定のボタン・ラベルが正常に表示されない問題が修正されます。

Patch\_1702087 の適用は Oracle Developer R6i Patch4a を日本語環境で実行する際には必ず行う必要があります。

### Patch\_1702087 の適用

注意： この手順は、Oracle Developer R6i Patch4a の適用後に行ってください。

Oracle Developer R6i がインストールされたディレクトリを ORACLE\_HOME とします。  
Oracle9i Application Server のユーザーは ias\_HOME/6iserver ディレクトリを ORACLE\_HOME としてお読みください。

1. ORACLE\_HOME/forms60/java ディレクトリにある次の 4 ファイルを

f60all.jar  
f60all\_jinit.jar  
f60common.jar  
f60web.jar

それぞれ f60all.jar.old 等にリネームを行い、バックアップを取ります。

2. CD-ROM の Patch\_1702087 ディレクトリにある全ての jar ファイル（f60all.jar、f60all\_jinit.jar、f60common.jar、f60web.jar）を、ORACLE\_HOME/forms60/java ディレクトリにコピーします。

以上で Patch\_1702087 の適用は完了です。

---

## 第 3 章 Oracle Forms Developer and Oracle9iAS Forms Services R6i

### Patch4 新機能

次に説明する新機能は Forms 6i Patch4 でサポートされます。さらに詳しい情報は、ホワイト・ペーパー「Forms 6i Patch 4:Forms Listener Servlet による Forms のインターネットへの配布」をご覧ください。なお、HP-UX プラットフォームでは Patch4 は Patch4a を指します。

#### Forms Listner Servlet の導入

Forms の以前のリリースでは、クライアントからの初期接続を管理するために Forms Listener を使用しています。Forms Listener では、インターネット上で Forms アプリケーションを HTTP または HTTPS 配置で使用する場合、Forms Listener を実行しているマシンとポートをファイアウォール上で公開する事に潜在的なセキュリティ・リスクが存在することに留意する必要があります。

Forms 6i Patch4 では新しく Forms Listener の機能を改良した Forms Listener Servlet があり、Forms アプリケーションをインターネット上に配置する場合、より安全な接続を提供します。Forms Listener Servlet はファイアウォールで公開されたマシン上で実行する必要がないためです。

注意：HTTP または HTTPS を用いてアプリケーションを配置する場合 Forms Listener Servlet を使用することをお勧めします。ただし、Forms Listener でも従来通り、直接のソケット接続、HTTP 接続および HTTPS 接続をサポートしています。

#### 必要条件

Oracle9iAS R1.0.2.1 が必要です。

#### Forms Listener Servlet について

Forms Listener Servlet は、Oracle9i Application Server のようなサーブレット・エンジンを備えた Web サーバー上で実行される Java サーブレットです。

Forms Listener Servlet が管理するもの：

- 各クライアントに対する Forms Server Runtime プロセスの作成
- クライアントと対応する Forms Server Runtime プロセス間のネットワーク通信

## Forms Listener Servlet を使用する理由

Forms Listener Servlet はインターネット上に Forms アプリケーションをより強力に、より標準的に配置するために設計されています。Forms Listener と Forms Listener Servlet を比較すると次のような利点があります。

- ファイアウォールとプロキシが広範囲にサポートされます。  
クライアント・ブラウザは Web サーバーと通信します。このアーキテクチャはサーバーレット・セッションを使用する標準的なサーバーレットが動作可能なファイアウォールとプロキシをサポートします。
- プロトコルの制限(HTTP/1.1 または HTTP/1.0)がありません。  
HTTP/1.1 に準拠しているプロキシを使用するとよりパフォーマンスが上がりますが、このアーキテクチャは HTTP/1.0 に準拠しているプロキシでも機能します。
- 管理するための余分なプロセスが不要です。  
このアーキテクチャには Forms Listener プロセスおよび Forms Listener プロセスを起動、停止するための管理タスクが必要ありません。
- SSL 配置のために特別なクライアント証明書を購入・管理する必要はありません。  
SSL(Secure Sockets Layer)を使用した配置を行う場合、クライアント・ブラウザと Web サーバーの間に HTTPS 接続が確立されるため、Forms Server レベルでの特別なセキュリティ構成は必要ありません。
- 標準的なロード・バランシングをサポートします。  
このアーキテクチャでは、ハードウェアのロード・バランシング、リバース・プロキシおよび標準的な Apache Jserv ロード・バランシングのような標準的なロード・バランシング方法を使用できます。
- Internet Explorer 5.0 ネイティブ JVM をサポートします。  
Oracle Jinitiator に加えて、このアーキテクチャは HTTP および HTTPS 接続モードを使用したインターネット配置に対する Internet Explorer 5.0 ネイティブ Microsoft JVM の使用をサポートします。

## より詳細な情報について

Forms Listener Servlet の詳細な説明（インストール、構成に関する情報）についてはホワイト・ペーパー「Forms 6i Patch 4:Forms Listener Servlet による Forms のインターネットへの配布」を参照してください。Oracle Technology Network の Web サイト <http://otn.oracle.co.jp/>を参照してください。ホワイト・ペーパーは更新される場合があります。



## jserv.properties ファイルの修正

HP-UX プラットフォームで Forms Listener Servlet を実行する場合は Oracle9iAS の Servlet 設定ファイル、<9iAS\_HOME>/Apache/Jserv/etc/jserv.properties 内の該当するエントリを以下のように修正してください。

誤)

```
wrapper.classpath = <9iAS_HOME>/6iserver/forms60/java
```

正)

```
wrapper.classpath = <9iAS_HOME>/6iserver/forms60/java/f60srv.jar
```

## 日本語環境での jserv.properties ファイルの修正

Forms Listener Servlet を日本語環境で実行する場合は Oracle9iAS の Servlet 設定ファイル、<9iAS\_HOME>/Apache/Jserv/etc/jserv.properties に、以下に示す日本語環境用の記述を追加します。

次の行を追加します。

```
wrapper.env=NLS_LANG=Japanese_Japan.JA16EUC
```

## JInitiator 1.1.8.7 の動作環境の追加

Oracle Developer R6i Patch4a に添付される Oracle JInitiator 1.1.8.7 は、プログラムと一緒にインストールされるドキュメントに記述してある動作環境に加え、以下の組合せもサポートします。

◎ : 新たにサポート対象として追加される組合せ

○ : プログラム添付のドキュメントで既にサポート対象となっている組合せ

	IE5.0	IE5.5	Netscape4.5/4.6/4.7
Windows 95	○	◎	○
Windows 98	○	◎	○
Windows NT 4.0	○	◎	○
Windows 2000	◎	◎	◎

## エラーメッセージの追加

### エラー・メッセージ 13009-18010

FRM-13009: JavaBean が IView インタフェースをインプリメントしません。

原因: Forms でこの JavaBean を使用するためには、JavaBean により Oracle Forms IView インタフェースをインプリメントする必要があります。

処置: Oracle Forms の oracle.forms.ui.IView インタフェースをインプリメントします。

FRM-18010: JavaBean を処理しようとした時に、不明エラーが発生しました。

原因: Forms でこの JavaBean を使用するためには、指定した JavaBean を Forms で検索およびインスタンス化できなければなりません。

処置: 指定した JavaBean とそれに付随するクラス・ファイルが正しくインストールされていることを確認します。Form Builder を再起動してから、JavaBean を再実行します。

## その他の問題点

### Patch4a インストール後の JInitiator バージョン整合

問題:

Patch4a 適用後、最新の JInitiator がデフォルトの名前と違う名前でインストールされます。

対処:

最新の JInitiator のファイル名は jinit-domestic.exe です。Form 起動 HTML ファイルを変更するか、Patch4a 適用後、ORACLE\_HOME/jinit/doc/jinit-domestic.exe から ORACLE\_HOME/jinit/doc/jinit.exe へのリンクを作成してください。

※ORACLE\_HOME は、Developer R6i をインストールしたディレクトリを指します。

コマンド例)

```
% cd $DEV_HOME/jinit/doc
% mv jinit.exe jinit.exe.save
% ln -s jinit-domestic.exe jinit.exe
```

## JInitiator Control Panel 1.1.8.7

問題:

Oracle JInitiator1.1.8.7 の「JInitiator Control Panel 1.1.8.7」を起動すると何も表示されないウィンドウが現れ、そのウィンドウを通した設定の変更ができません。

対処:

通常、Forms アプリケーションのエンドユーザーは Oracle JInitiator の設定を変える必要はありませんが、設定を変更する場合は保存されている設定情報を直接編集する必要があります。以下に Forms の開発者が使用することが多い機能、Java Console の表示を切り替える方法を例として示します。

Java Console の表示の切替方法

1. 下記ファイルをテキストエディタで開きます。ディレクトリは実際の環境に合わせてください。

Windows 95 等

C:\Windows¥.java¥properties

Windows NT 等

C:\WINNT¥Profile¥ユーザー名¥.java¥properties

2. 以下のエントリを編集し、保存してからブラウザを再起動し、Oracle JInitiator をリロードしてください。

Java Console を表示します。

javaplugin.console=true

Java Console を非表示にします。

javaplugin.console=false

---

## 第 4 章 その他の追加情報

### チャート・ウィザード

このリリースの Oracle Forms Developer、および Oracle Reports Developer ではチャートウィザードの使用はサポートされていません。

### og.pll の使用

og.pll を使用して Forms に Graphics を埋め込む場合には、Oracle Developer R6i のインストール CD-ROM にある、

<CD-ROM>/extras/forms/graphics/og.pll

をコピーして使用して下さい。

### Windows 2000 への JInitiator のインストール

Windows 2000 のグループは主に Administrators、Power Users、Users の三つがあります。JInitiator をインストールする際は、Administrators、または Power Users グループに属するユーザーで行う必要があります。

### reports60.csh の編集

スクリプト、\$ORACLE\_HOME/reports60.csh 内に構文エラーがあります。正しく動作させるために、このスクリプトに含まれる NLS\_LANG 環境変数の設定を確認する IF 文を以下のよう修正してください。

誤)

```
if [ "$NLS_LANG" = "" ]
```

```
then
```

正)

```
if ( ! $?NLS_LANG ) then
```